

富山市立水橋東部小学校

●実施状況

梅雨入り前の晴天に恵まれた中、水橋東部小学校の児童(3年生)が水橋伊勢領地内の農業用排水路にて田んぼの生き物調べを実施しました。校舎前にて農業用水の役割を学んだ後、調査方法を確認し現地へ移動しました。

まずは理科の授業で習ったばかりの、温度計を使って用排水路の水温を計測しました。

次に、水路にいる生き物をタモ網を使ってすくい、捕獲しました。中には、大きなタモロコやアメリカザリガニが捕れて、大きな歓声をあげる児童も見られました。

今回の活動を通して、身近な場所に色々な生き物がいることを発見するとともに豊かな自然とふれあったことで、地域の自然環境について考えるキッカケになりました。

場 所 : 富山市水橋伊勢領地内ほか
(農業用排水路)

実 施 日 : 平成28年6月6日(月曜日)

参 加 者 : 水橋東部小学校3年生4人
下条用水土地改良区役員2人
地元関係者1人
県職員4人

計11人

活動内容 : ・捕獲調査
・観測及び記録
・捕獲生物の説明
・農業用施設等の役割説明

捕獲生物 : オタマジャクシ、トノサマガエル、ヤゴ
アメリカザリガニ、マルタニシ、カワナ
ドジョウ、タモロコ



●参加児童の感想

<3年生男子児童>

たくさん魚を捕まえてうれしかったです。ドロの中には生き物がいないと思っていたら、ザリガニやトノサマガエルがいました。

<3年生男子児童>

ぼくは、水路の中の生き物をたくさん捕まえてうれしかったです。トノサマガエルの体長は10cmぐらいでした。

<3年生女子児童>

今日いろいろな生き物を捕まえられてうれしかったです。特に、ザリガニを捕まえられたことがうれしかったです。水路に生き物がいっぱいいて、ビックリしました。